

## 1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は妥当である。令和4年度新高小学校の「運営に関する計画」の最終評価に関して以下のように、協議会の意見を記載するので、それらを踏まえ、さらなる学校運営の改善を期待する。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標：最重要目標1 安全・安心な教育の推進

## 全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。  
☆達成状況 →R4年度調査結果 96%
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。  
→R3年度 4/676=0.59% ☆達成状況 R4年度 8/659=1.21%
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。  
→R3年度不登校児童4名 ☆達成状況 →R4年度2名（改善の割合50%）

## 学校園の年度目標

- 「SPS 年度計画」に基づいた施策を立案し、それを着実に実行することにより、令和4年度末の児童アンケート（3年以上）の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。  
☆達成状況 →R4年度 89.4%
- 令和4年度末の児童アンケート「友達一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。  
☆達成状況 →R4年度 92.2%
- 児童アンケート「先生や友達とあいさつをしていますか？」「地域の方にあいさつをしていますか？」「お家の人にあいさつをしていますか？」、保護者アンケート「お子様は、地域の方にあいさつをしていますか？」「お子様は、お家の方にあいさつをしていますか？」の項目に対して、肯定的に回答する児童・保護者の割合を、90%以上にする。  
☆達成状況 「先生や友達とあいさつをしていますか？」 R4→92.3%  
「地域の方にあいさつをしていますか？」 R4→90.2%  
「お家の人にあいさつをしていますか？」 R4→91.0%

- ・あいさつについて、毎月1回、あいさつの大切さについて講話することやあいさつ強調週間を学期に1回以上設定することを指標としていたが、実施予定通りとなつてよかった。
- ・あいさつが増えていることは事実だが、アンケート結果は高すぎると思う。→あいさつについては次年度も引き続き取り組んでほしい。
- ・学校のHPにSPSが載っていない。内容が古い。学校のHPは今の活動の報告のみとなっている。他のところは更新されていない。
- ・睡眠を成長期の児童は大切にすべき。もっと寝ましょうということを目標にしてはどうか。

## 年度目標：最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上

## 全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を32%以上にする。（R3 31.3%）  
☆達成状況 34.7%
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させる。

☆達成状況
国語
4年+0.6
5年-1.2
6年+1.1
算数
4年-0.5
5年+0.8
6年+2.4

○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（R3 77.5%）
☆達成状況 79.6%

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 57%以上にする。
☆達成状況 67.0%

学校園の年度目標

○小学校学力経年調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習など）をしていますか。」に対して、肯定的な回答する児童の割合を、50%以上にする。（R3 46.0%）
☆達成状況 47.7%

○児童アンケートにおいて、「算数の学習は分かりますか」の項目について、そう思う（どちらかといえばそう思う）」と答える児童の割合を、全体の 85%以上にする。（R3 85.9%）
☆達成状況 85.7%

・達成状況がA：目標を上回って達成したになっている。しかし、6つの項目のうち、上回っているものが1つ、目標どおりが2つ、達成できなかったものが3つとなっているので、達成状況はB：目標どおりに達成したではないかと思う。そこを修正したうえで承認することを採決したい。《最終評価は、上の点を修正することを条件に全員一致で承認された。》

年度目標：最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実	
全市共通目標（小・中学校）	
○ 令和4年度末の校内調査の「学習者用端末は、自分の生活や学習に役だっている」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。	☆達成状況 90.8%
○ 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えない教職員の割合を70%以上にする。	☆達成状況 89.4%
学校園の年度目標	
○ 令和4年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を70%以上にする。	☆達成状況 78.5%
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方は忙しいのに運営に関する計画は盛り沢山な内容となっている。もっと減らせないのかと思う。</li> <li>・HPの充実を進め、連携を進めてほしい。</li> </ul>	

### 3 今後の学校運営についての意見

コロナ禍で様々な面で制限せざる負えない中での学校運営から、今年度、少しずつ取り組みを進めることができ、子どもたちが過ごせたことは成果である。コロナ禍以前、保護者・地域・学校が連携してきた新高小の取り組みを継続、進化して、子どもたちのために取り組んでいってほしい。